

# 地域福祉を推進する主体の役割と協働の考え方 (本編P43~P48)

「尼崎市民の福祉に関する条例（S58）」と、「尼崎市自治のまちづくり条例（H28）」の考え方を基本として、市民（※）、事業者が、地域社会の一員として自覚を持ち、地域福祉を進める活動に積極的に参画するように努めることが必要です。

また、地域福祉を推進する多様な主体同士がお互いを認め合い、連携を深め、それぞれの有する“つよみ”を発揮して、課題解決に向けた協働の取り組みを広げていくことが必要です。

※地域の課題解決は、幅広い人々の参画が必要なため、この計画における市民とは、本市在勤、在学の方も含まれます。

## 本市の地域福祉を推進する多様な主体のうち、主な団体の役割と協働の考え方

### ● 尼崎市社会福祉協議会

尼崎市社会福祉協議会では、地域福祉の推進を目的とした社会福祉法人であるとともに、地域の団体の多くを構成組織としている本市における最大の自治組織という“つよみ”を活かし、地域の様々な課題を発見し、地域と様々な地域活動の主体をつなげ、連携することで課題解決に向けた協働の取り組みを広げてきました。

こうした地域福祉活動に関するノウハウ等をもとに、市への提言、提案や先駆的な取り組みが行われていますが、引き続き、こうした取り組みがより一層、期待されています。

### ◇ 社会福祉連絡協議会の取り組み

西大島社会福祉連絡協議会（大庄支部）では、民生児童委員、老人クラブ、女性部、子ども会、ボランティア等と連携して様々な活動が行われています。

見守り活動や武庫川ボランティアグループが実施している住民相互の支え合い活動等（写真参照）の福祉活動のほか、バス研修やお花見等の各種行事でもそれぞれの主体が役割を持って企画・運営が行われています。



### ● 民生児童委員

民生児童委員は、民生委員法により「社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努める」と規定され、地域福祉における重要な役割を担っています。

特に、地域に根差した日常的な活動を通して、地域の生活福祉課題に触れることが多いことから、課題解決の糸口としても、その役割はますます重要になっています。

### ◇ 民生児童委員・主任児童委員の取り組み

大庄地区の民生児童委員、主任児童委員が、母親と子どもが家庭で孤立してしまうことがないように、月1回でも子育て中のお母さんが気軽に交流し、遊びに訪れる居場所を作りたいという思いから「どんぐり広場」を開設しています。



### ● NPO法人、ボランティア団体などの公益活動団体

特定の公益目的をもって活動している団体としてNPO法人（特定非営利活動法人）、ボランティア団体などがあり、その規模は大小様々ですが、本市においては福祉、まちづくり、社会教育、子育てなどをはじめ、多様な分野で活動を行うなど、欠かせない存在となっています。

地域福祉の向上を図る上で、NPO法人などの団体の参画は、地域の住民や団体だけでは取り組むことが難しい課題に対応できる力となったり、地域での活動に厚み、幅が生まれることが期待されます。

### ◇ 認定NPO法人 子どものみらい尼崎の取り組み

子育て支援などに取り組む認定NPO法人子どものみらい尼崎では、貧困、ネグレクト等の課題のある小・中学生への支援プログラム「すこやか子どもカレッジ」に取り組んでいます。

「学力」を支援するために家庭学習の場を確保したり、季節の行事などの「文化」を学ぶ機会を提供するほか、夏休み昼食会を実施することで子どもの健やかな育ちを支援しています。



### ◇ NPO法人 兵庫県防災士会の取り組み

NPO法人兵庫県防災士会では、防災士による市政出前講座講師（減災活動）、まちあるき防災マップや各地区避難訓練計画の作成支援など、地域及び防災関係機関等と連携し、減災に資する防災力向上を図る活動に取り組んでいます。



## ● 社会福祉法人

尼崎市では、高齢者、障がい者、子ども等を対象として、専門的な機能を有し、様々な福祉サービスを行う社会福祉法人があります。

その中には、これまでも地域行事への参加や施設開放を行うほか、災害時の福祉避難所としての指定を受けるなど、地域の重要な拠点となっているところがあります。

また、社会福祉法人制度の見直しにより、地域における公益的な取り組みの充実が求められており、今後より一層、積極的に地域と一体となって地域福祉を支えていくことが期待されています。

### ◇ 社会福祉法人あかねの取り組み

社会福祉法人あかねでは、介護施設で「介護士」「看護師」「管理栄養士」「保育士」の仕事を楽しく体験する介護の職業体験イベント「キッズケア」が行われています。

このイベントを通して、地域の子どもたちとその親世代にも介護の仕事の楽しさや介護現場を知ってもらい、いきっかけになればとの思いで年2回開催されています。今と未来をつなぐ新たな試みとして、地域とともに取り組まれています。



## ● 地域の企業、事業所

尼崎市には様々な企業、事業所があります。尼崎市民の福祉に関する条例にも規定されているように、雇用機会の拡大、雇用環境の整備、就労の機会の確保など、生活困窮者が増える中で、一層その役割が期待されています。

また、企業、事業所の中には、市場原理に基づく行動のほかに、様々な形で社会貢献活動を行おうとする取り組みが増えてきており、地域福祉の推進においても、大きな役割を果たすことが期待されています。

### ◇ 生活協同組合コープこうべの取り組み

被災等により社会福祉協議会本部（尼崎市東大町1-1-2）での災害時ボランティアセンターの設置が困難である場合などにコープこうべ協同購入センター尼崎（尼崎市猪名寺町3-5-25）を活動場所として提供していただくなどを内容とした協定を、生活協同組合コープこうべ、市社会福祉協議会、市の3者で締結しています。

また、「緊急時における生活物資に関する協定」を市と様々な企業が締結しており、生活協同組合コープこうべの間でも締結しています。



## ● 教育機関等

尼崎市には、小・中・高等学校及び大学、専門学校等、様々な教育機関等が存在します。こうした教育機関等は、教育・研究活動として、福祉人材の育成に重要な役割を果たしています。

また、学びと活動の拠点として、地域課題の解決に向けて地域と協働することで、地域を担う人材の育成にもつながることが期待されています。

### ◇ 園田学園女子大学の取り組み

園田学園女子大学のCOC事業（※）の一つ「尼崎発!子育て・親育ち応援サミット」は、大学の教職員、学生と地域の子育て支援者、行政や社会福祉協議会など、様々な立場の人々が集まって意見を出し合い、企画段階から協力してつくりあげたイベントです。

※大学COC事業とは、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。



## ● 当事者組織（セルフヘルプグループ）

障がいのある人や依存症に悩む人、暴力被害者、ひきこもり、ひとり親家庭である母子家庭や父子家庭の人、その家族など、共通のニーズや課題、悩みを抱える当事者が出会い、ともに支え合っていくために、数多くの当事者組織があります。

地域社会で孤立しがちな人たちが、様々な活動を通して社会参加を果たすことができるよう、課題や悩みを抱える人たちの組織化支援、当事者としての地域の活動への参画などの取り組みが期待されています。

### ◇ 尼崎市手をつなぐ育成会の取り組み

市内の知的障害・自閉症のある子どものいる家族の会“尼崎市手をつなぐ育成会”のグループである「まんまるはーと」は、知的障害のある人とそうでない人との間に橋をかけたいという思いで活動をしています。

知的障害は外からわかりにくく、行動も理解されにくいので、「知的障害疑似体験」という、楽しくわかりやすく、簡単に参加できるワークショップを通して知的障害のある人の特性や気持ちを体験し、共に生きる仲間として理解を深めていくことに取り組んでいます。

